

一般社団法人日本循環器看護学会
令和5年度 第3回WEB理事会 議事録

- 1.日 時 令和6年(2024年)2月19日(月) 19時00分から21時00分まで
- 2.場 所 オンライン(Zoom)
- 3.出席者 眞嶋 朋子、籀持 知恵子、池亀 俊美、稲垣 美紀、宇都宮 明美、大江 理英、
落合 亮太、小泉 雅子、齊藤 奈緒、竹原 歩、三浦 英恵、山中 源治、
鷺田 幸一、坂本 明子、山内 英樹(以上理事)
瀬戸 奈津子、吉田 俊子(以上監事) 以上18名中17名出席(定足数8名)
欠席者 眞茅 みゆき(以上理事)

4.会議の目的事項並びに議事の経過の要領及び結果

以上のとおり定款第28条の定める定足数を満たす理事の出席があり、本理事会はWEB会議システムを用いて開催されるため出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いのできる状態となっていることが確認されたことで本理事会が成立したため、定刻、眞嶋理事長が開会を宣した。

(審議事項)

第1号議案 前回議事録の確認について

眞嶋理事長より、前回理事会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

第2号議案 新規入会者・退会者の承認について

総務委員長より、新規申請入会申請者18名、退会希望者19名について議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

第3号議案 投稿者の資格について

学会誌編集委員長より、学会誌の投稿者の資格について議場に審議が求められた。投稿規程に筆頭者だけでなく、共著者も会員に限ると定められている。これにより、投稿数が伸び悩んでいること、掲載料を支払えば会員になる必要がない学会も増えつつあることにより、他学会へ投稿者が流れてしまうことを懸念している旨、説明がなされた。会員以外からの投稿を受け付けることについて、会員数の減少が懸念されるとの意見や、門戸を広げることにより、循環器看護を発信していくことを目的とし、掲載数の増加及び会員数の増加につなげた方がよいのではないかとの意見交換がなされた。審議を経て、学会誌については、筆頭著者は学会員に限り、共著者は掲載料を支払えば投稿可能とした方が、今後の多職種連携の観点からも良いのではないかとの意見が多数となった。以上より、本議案は承認された。また、本議案の審議中に発言のあった、学術集会の規程については、今後の継続審議となった。

第4号議案 学会設立20周年企画について

総務委員長より学会設立20周年企画について、資料を基に説明がなされた。現在、パネリストを打診中であること、4月には座長及びパネリストが決まる予定であることが説明された。進め方

の方針について、提案の通りでよろしいか確認並びに審議が求められた。方針は認められたが、パネルの内容の変更や社会貢献として、若者向けに何かできることはないか等の意見が出され、継続審議となった。

第 5 号議案 JACN 会員シーズ調査およびデータベース運用について

総務委員長より、会員シーズ調査及びデータベース運用について、実際の様式を供覧しながら説明がなされた。方針は承認されたが、進め方と安全管理、項目を整理して再提案することとなった。

第 6 号議案 令和 5 年度予算補正について

総務委員長より、社会貢献委員会の旅費交通費へ総務委員会の設立 20 周年事業費から 200,000 円移管することについて審議が求められた。全会一致にて予算補正が承認された。

第 7 号議案 令和 6 年度研究助成審査委員について

総務委員長より、令和 6 年度研究助成審査委員について資料に基づき説明がなされた。本決定は 4 月の理事会となるが、本理事会では、下記の人員を候補者とするについて審議が求められた。

選考委員長候補：簗持知恵子(副理事長)

選考委員候補：加賀谷聡子(倫理委員会委員)

小泉雅子(国内交流委員会委員長)

稲垣美紀(学術委員会委員長)

林亜希子(総務委員会委員)

上記 5 名を候補者とするについて異議なく承認された。

第 8 号議案 選挙人・被選挙人名簿の確認について

選挙管理委員長より、第 6 期代議員選挙の選挙人及び被選挙人について供覧資料を基に、名簿確認の審議が求められた。審議の結果、異議なく承認された。

第 9 号議案 COI スケジュールについて

倫理委員長より、2024 年度からの COI スケジュールについて資料に基づき説明がなされた。選挙年度と被選挙年度と分けて COI 申告を依頼することについて併せて説明がなされ、提示された COI スケジュールについて審議が求められた。スケジュールについては、審議の結果異議なく承認された。

併せて、委員会にて COI 申告内容を確認し、報告事項が問題となった場合、関係する委員長及び理事長へ倫理的な問題がないか継続モニタリングを行うことを検討していることが説明された。現時点での未申告者への対応はメールの他、封書にて案内する手段が提案された。また、就任時に COI 申告をすることを定義づける等、今後の提出について提出を促進できるよう検討を行うこととなった。

第 10 号議案 照林社からの書籍シリーズの編集委員について

学会編集の「心不全看護スタンダード」について先般行われた会議の報告を踏まえた説明がなされた。照林社の「心不全看護スタンダード」について学会から編集者を選出して編集していくことについて審議が求められた。審議の結果、異議なく承認された。

また、下記の理事が編集委員として推薦された。

- ・鷺田幸一理事
- ・池亀俊美理事
- ・落合亮太理事
- ・山中源治理事

上記の理事が編集委員として目次を作成し、執筆者を決定することが承認された。

(報告事項)

1. 学術委員会活動報告

学術委員長より下記の事項について報告がなされた。

・第43回教育セミナーについて

実際に166名が参加したこと、参加者がおおむね満足していることが確認できた旨、報告がなされた。

・コア・コンピテンシーWGメンバーについて

メンバーとして下記のメンバーが決定した旨、報告がなされた。

【学術委員会委員】(敬称略)

稲垣美紀、大江理英、山内英樹、深水愛子、山下亮子、久保田ナナ、宮脇郁子

【ワーキングメンバー】(敬称略)

佐野元洋、北村幸恵、伊東由康、北別府孝輔

【オブザーバー】(敬称略)

眞嶋朋子、籠持知恵子

・セミナー配信方法の検討

1月22日にHP業者と打ち合わせを行い、オンデマンド配信の為の準備を行っている旨、報告がなされた。

2. 学会誌編集委員会活動報告

学会誌編集委員長より資料の通りとの報告がなされた。

3. 政策・診療報酬委員会活動報告

政策・診療報酬委員長より、資料に基づき、本学会の提案はエビデンス不足として算定の対象とならなかったこと、現在論文投稿の査読中である旨、報告がなされた。

4. 広報委員会活動報告

広報委員会委員長より資料の通りとの報告がなされた。

5. 倫理委員会活動報告

倫理委員会委員長より資料の通りとの報告がなされた。

6.国内交流委員会活動報告

国内交流委員会委員長より、当会の第21回学術集会でのジョイントシンポジウムについて承認された旨、事後報告がなされた。また、会員シース調査については総務委員会と継続して検討する旨、報告がなされた。

7.国際交流委員会活動報告

国際交流委員会委員長より、現在検討中の事項があり、現時点では報告はないとの説明がなされた。

8.選挙管理委員会活動報告

選挙管理委員会委員長より、選挙について予定通り進めている旨報告がなされた。併せて飯塚裕美氏(亀田総合病院)が立会人として決定した旨、報告がなされた。

9.社会貢献委員会活動報告

社会貢献委員会副委員長より、資料に基づき、Go Red for Women Japan 健康セミナーに参加した旨、報告がなされた。今後はGo Red for Women Japan 健康セミナー及び健康ハートの日の活動を継続する旨、説明がなされた。

10.総務委員会

総務委員長より個人情報管理規定の策定及び研究助成の要件の見直しを今年度内に行う為活動を行っていく旨、報告がなされた。

11.第20回学術集会報告

山田緑大会長より、資料を基に決算書、アクセス数、アンケートの報告がなされた。決算書について、収入は14,729,145円、支出は14,729,145円となり、940,347円の黒字で集会を終了した旨、説明がなされた。併せて、アクセス数は、市民公開講座へのアクセスが457件と最も多かった旨、説明がなされた。

12.第21回学術集会準備状況報告

三浦英恵大会長より、資料の通り、セッション等の準備を進めている旨、報告がなされた。また、池亀先生を企画委員として追加する旨、報告がなされた。併せて、循環器病研究振興財団からの問い合わせ2件について回答の審議が求められた。

①研究発表会で発表する内容を第21回日本循環器看護学会学術集会でも発表してよろしいか

回答:タイトルと中身を変更して発表いただきたい。

②財団の研究発表会での演者は「研究発表会への参加のみ」の場合、参加費は不要としてよろしいか。

回答:研究発表会への参加のみであれば参加費用は不要であるが、他の人との区別がつくような対策やその旨を発表会参加者にアナウンスしてもらうように財団の方に依頼する必要がある。

13.第 22 回学術集会準備状況報告

齊藤大会長より 9 月 20 日 21 日にて学術集会開催を予定している旨、報告がなされた。4 月の理事会にて日付が確定する予定との説明がなされた。

14.日本看護協会認定看護師制度に関する意見交換会

簗持副理事長より 2 月 7 日に意見交換会に参加し、内容は、当該分野の将来の需要数の推計の前提に関する説明と CN 制度に関しての意見交換であった。看護協会からは認定制度の維持及び CN のスキルアップの維持の為の教育を各学会へ依頼したい旨、説明がなされた(別紙意見交換会内容については理事会後配信した)。

15.理事会日程について

総務委員長より、4 月及び 6 月はオンラインで開催すること、9 月は対面でできるよう調整する旨、説明がなされた。

16.協力学術研究団体への申請について

眞嶋理事長より、現在の申請状況について報告がなされた。先方の伝達不足等により、審査が進んでいなかったが、3 月末に審議してもらえるよう手配中であり、結果待ちの旨、説明がなされた。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印する。

令和 6 年 2 月 19 日 一般社団法人 日本循環器看護学会 理事会

理事長 眞嶋 朋子

監 事 吉田 俊子